



平成 28 年 6 月 17 日

各 位

会 社 名 兼松エレクトロニクス株式会社  
代表者名 代表取締役会長 酒井 峰夫  
(コード番号 8096 東証第一部)  
問合せ先 経営企画室長 岡崎 恭弘  
(TEL 03-5250-6821)

## 中期経営計画策定に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期を初年度とする 3 カ年の中期経営計画を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

### 記

#### 1. はじめに

当社は、兼松グループの電子・デバイス部門の一翼を担う会社として、特定のメーカーに偏らないマルチベンダー機能を活かし、主に I T インフラ基盤構築ビジネスを、大手企業を中心としたエンドユーザーへ提供しております。

また、情報システムの設計・構築・販売および保守サービスだけでなく、企業の情報システムの運用を当社が請け負う運用サービス、そしてグローバル市場での対応を含めたワンストップでのサービスを提供し、経営理念である「お客様第一主義」、「新しい価値の創造」、「C S R の追求」の実現に向けた取組みを推進しております。

#### 2. 直前の中期経営計画（平成 26 年 3 月期から平成 28 年 3 月期）における取組みについて

平成 28 年 3 月期を最終年度とする中期経営計画では、「当社の強みの深耕」「成長性の高い事業分野の取組み」「独自性のある事業領域へ注力（ブランドの向上）」「グローバル市場での事業強化」「経営インフラの強化」を重点施策に掲げ、平成 28 年 3 月期・経常利益 58 億円以上を目標値として取り組んでまいりました。

当社の強みの深耕として、従来からビジネスの基盤としているインフラ構築ビジネスに加え、仮想化ソリューションビジネスの拡大、日本企業の海外進出に対するサポート強化などのグローバル市場における事業拡大を図り、また経営インフラの強化策として日本オフィス・システム株式会社の完全子会社化をはじめとするグループ企業の再編等を行うことで、平成 28 年 3 月期における経常利益は 65 億円となりました。

#### 3. 今後の中期経営計画（平成 29 年 3 月期から平成 31 年 3 月期）について

当社グループは、兼松グループの電子・デバイス部門を担う中核企業として、兼松株式会社が掲げる「VISION 130」の下、「信頼と価値を創造する企業集団」を企業理念に掲げ、エンドユーザー向けビジネスを主体とし、グループ総合力を活かした I T 総合サービス会社を目指してまいります。

具体的な施策として、以下の事項に取り組んでまいります。

- ①仮想化やセキュリティといった成長著しいビジネス領域への注力、顧客基盤を拡大
- ②お客様のフロントオフィスにおける戦略的 I T 投資に対しソリューションの提供
- ③グループ内における人的資源の適正配置を含めた、経営資源の選択と集中を推進
- ④海外ビジネスにおけるシステム構築や運用・保守サービス体制の確立

#### 4. 目指す経営指標

- ・収益面では最終年度に連結経常利益 73 億円
- ・R O E：每期 10% 以上
- ・継続的な安定した配当による株主への利益還元

以 上